



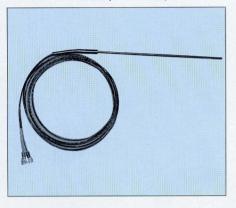
TS型・TP型	熱	電	対
RS型・RP型	測温	抵抗	体

温度センサ

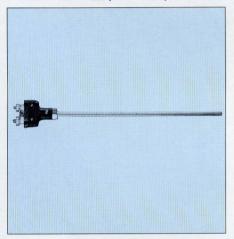
標準品温度センサ

標準品写真

TS-11・RS-11型(シース型)



TS-21・RS-21型(シース型)

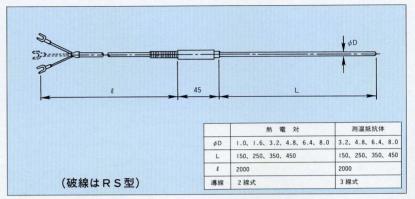


TP-31·RP-31型(一般型)

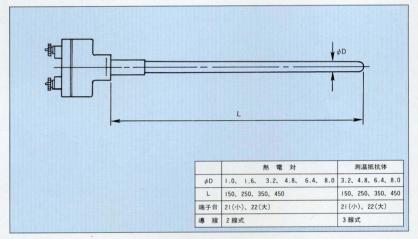


標準品図面1例

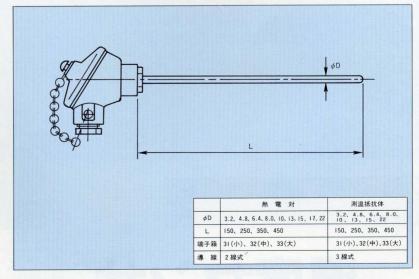
TS-11・RS-11型(シース型)



TS-21・RS-21型(シース型)

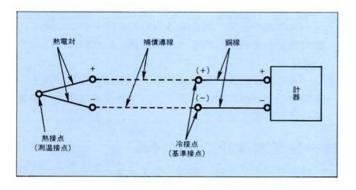


TP-31·RP-31型(一般型)



熱電対

熱電対は異なる2種類の金属の一端を接続したもので、この接続した点を測温接点(熱接点)、他端を基準接点(冷接点)と呼びます。両接点間に熱を加えますと両端の温度差に関係ある熱起電力(mV)が発生します。このため冷接点を一定の温度に保てば、熱起電力から熱接点の温度を知ることができます。熱電対はこの原理を利用した精度の高い温度センサです。



■シース型熱電対の特長

シース型熱電対は金属製極細管に熱電対素線と高純度の Mg 0 絶縁粉末を密封入した構造で、次の特長があります。

- ①細いところや小さなところ、また曲折したところへも挿 入取付ができます。
- ②細くて熱容量が小さいため感度が著しく良く,温度変化 に対する応答が早いので,迅速に状態変化をとらえます。
- ③気密性が高いので寿命が長く、腐蝕性雰囲気や振動の激 しいところでの使用が可能です。

■一般型熱電対の特長

一般型熱電対は、熱電対素線保護のため金属保護管また は非金属保護管に入れて使用します。使用する保護管は測 定温度や雰囲気により材質を選びます。これらの特性につ いては巻末に紹介してありますので参考にしてください。

この一般型はシース型に比べて素線や保護管が太くて強 度があり、耐久性が良く、寿命が長い反面、感度が悪く、 応答性が劣る場合があります。

■熱電対種類・階級・使用温度

種	類	熱電対	秦線材質	TO AN PERSONAL PROPERTY.		許容		使 月	温度	(7)		2 素子																						
				測定温度 (℃)	階級	誤差	シース型	シース型 (SUS)		一般型			径(mm)																					
新記号	旧記号	+	-	(0)		(%)	外径 (mm)	常用限度	線径 (mm)	常用限度	最高限度	シース型	一般基																					
В		Pt+30%Rh	Pt + 6 %Rh	600~1700	0.5	±0.5	_		0.5	1500	1700	_	6 -20																					
S		Pt+10%Rh	Pt	0~1600	0.25	±0.25	40	_	0.5	1400	1600	0																						
R	PR	Pt+13%Rh	Pt	0~1600	0.25	±0.25			0.5	1400	1600	=	6 ~2																					
						±0.4	1.0	500	0.65	650	850	2-3																						
		more and the second	9000 AZ	0~1000	0.4		1.6	800	1.0	750	950	_																						
К	CA	Ni+Cr を主体と	Ni を 主体とし	0~1000	0.75	±0.4	3.2	800	1.6	850	1050	3.2	3.2																					
	- CA	した合金	た合金	-200~0	1.5	±1.5	4.8	810	2.3	900	1100	4.8	22																					
			CE WATER	-200~0	1.5	±1.5	6.4	900	3.2	1000	1200	6.4																						
							8.0	900	3.2	1000	1200	8.0																						
E			Cu+Ni を主体と した合金	0~800 0~800 -200~0	0.4 0.75 1.5	±0.4 ±0.75 ±1.5	- 57.	200	0.65	450	500		3.2																					
	CRC	Ni+Cr を主体と した合金							1.0	500	550	-																						
							3.2	500	1.6	550	650	3.2																						
							4.8	600	2.3	600	750	4.8																						
							6.4	600	3.2	700	800	6.4																						
																													8.0	650	3.2	700	800	8.0
								-	-	0.65	400	500	1 =	1																				
							-	24-1	1.0	450	550	1-0	2.0																					
J	IC	Fe	Cu + Ni	0 750	0.4	±0.4	3.2	450	1.6 500	650	3.2	3.2																						
3	10	re	を主体と した合金	0~750	0.75	±0.75	4.8	500	2.3	2.3 550 750	750	4.8	22																					
			31CH M				6.4	600	3.2	600	750	6.4																						
	E-m						8.0	600	3.2	600	750	8.0																						
							-	-	0.32	200	250	-																						
				0 256			1.6	200	0.65	200	250	-																						
Т	cc		Cu+Ni	0~350	0.4	±0.4	3.2	200	1.0	250	300	3.2	3.2																					
	CC	Cu	Cu を主体と した合金	0~350	0.75	±0.75	4.8	250	1.6	300	350	4.8	22																					
			30 4 199 3	-200-0	1.5	±1.5	6.4	320	1.6	300	350	6.4	22																					
			3				8.0	320	1.6	300	350	8.0																						

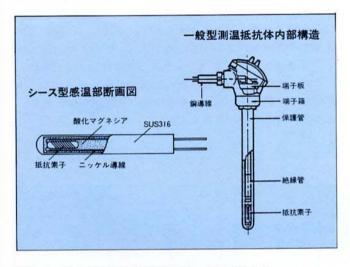
- [注] ①K, E, J, Tの階級はクラス0.75を標準とします。
 - ②使用温度の常用限度,最高限度とはそれぞれ空気中において連続使用できる温度の限度および短時間使用できる温度の限度をいいます。
 - ③測温接点 (熱接点) の形状は非接触形を標準とします。

測温抵抗体

測温抵抗体は金属の電気抵抗が温度と一定の関係のあることを利用したもので、温度センサ用として極めて純度の高い白金 (Pt) を抵抗素子として使用し、精度の高い温度測定ができます。

測温抵抗体にはシース型と一般型があり、シース型は金属製細管に白金抵抗体と高純度Mg0 絶縁物で気密よく充塡したもので、一般型は保護管内に白金抵抗体素子を封入した構造のものです。

白金抵抗素子については、1989年 JIS の改正により、新・旧 JIS の区別をすることになりましたのでご注意ください。



■シース型測温抵抗体の特長

シース型測温抵抗体は金属製細管の中に白金抵抗素子と 導線を Mg 0 絶縁粉末と共に気密よく充塡, 封入した構造で, 次の特長をもっています。

- ①シース型特有の細管、屈曲性があるので、小さなところや曲折したところへも挿入でき、複雑な機械や装置のプロセスの温度測定に適しています。ただし、曲げ半径はシース外径の5倍以上で、先端より70mm以内は曲げ加工はできません。
- ②シース内部が密閉、気密構造のため振動や衝撃に強く, また素子が酸化されにくいため耐熱、耐久性にすぐれて います。
- ③シース外径が細く、熱容量が小さいので、感度が良く、 応答性や追従性にすぐれており、急激な温度変化のある 場合にも対応できます。

一般型測温抵抗体の特長

一般型測温抵抗体は、左図に示すように抵抗素子,内部 導線,絶縁碍管,端子板とこれらを保護する保護管,端子 箱などにより構成されており、シース型に比べ保護管径や 肉厚が大きく,機械的強度は強く耐久力がある反面,感度 が悪く,追従性が劣ります。

特注品として、保護管内部にシリコン、エポキシ樹脂、マ グネシアなどの絶縁物を充填して、湿気防止、耐振動、感 度向上などを行うこともできます。

■測温抵抗体種類・階級・使用温度

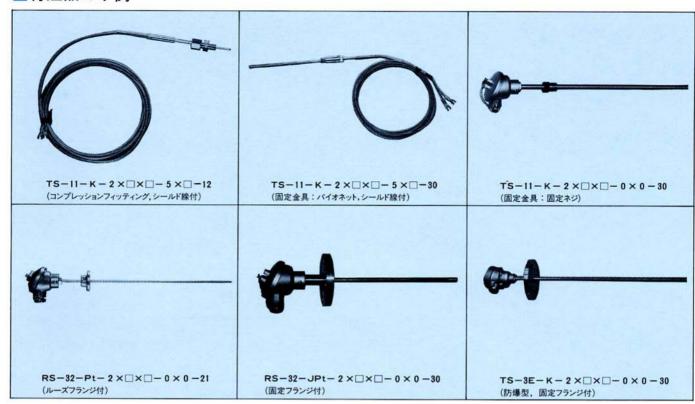
種	類			測定温度 (で)	許容差		導線方式	保護管材質・外径(mm)			
		公 称 抵抗值 (Ω)	使用温度 節 囲		A 級 B 級	シース型(SUS 316)		一般型 (SUS 304)			
新 JIS	旧 JIS				温度値 (℃)	温度値 (℃)		1 素子	2 秦子	1 素子	2 秦子
				-200	±0.55	±1.3		3.2	s —	3.2	_
				-100	±0.35	±0.8		4.8	-	4.8	4.8
	JPt 100	(3.0)001		0	±0.15	±0.3	3 導線式	6.4	6.4	6.4	6.4
				100	±0.35	±0.8		8.0	8.0	8.0	8.0
Pt 100			M {	200	±0.55	±1.3			<u> </u>	10	10
			н	300	±0.75	±1.8		-	_	12	12
		-		350	±0.85	±2.05				15	15
				400	±0.95	±2.3		V==	/ <u>17</u>	22	22
				500	±1.15	±2.8				====	

(注) ①1989年 JIS の改正により、新 JIS と旧 JIS 規格品の規準抵抗素子の R100/R 0 値 (100℃と 0℃の抵抗比) が右表のように変りました。
製作に当っては新 JIS か旧 JIS か、ご指定ください。

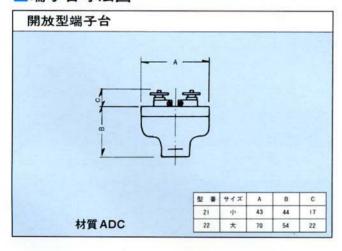
JIS	記号	R100/R0
新JIS	Pt 100	1.3850
旧 JIS	JPt 100	1.3916

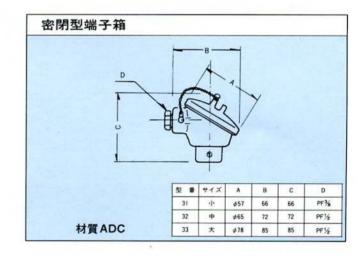
②測温抵抗体の階級はB級を標準とします。

■特注品の1例

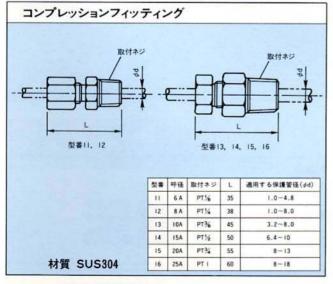


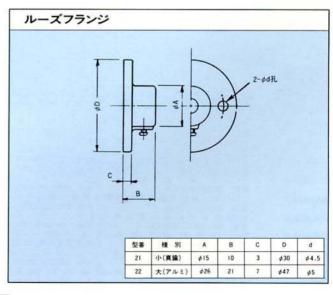
端子台寸法図





■固定金具寸法図





■熱電対用保護管(材質・使用温度・性質)

	保護管材質	記号	使用温度(℃)					
	沐磯官/竹具	āC75	常用	最高				
		SUS304	750	850	耐蝕、耐熱性にすぐれ、汎用性をもつが、硫黄還元炎に弱い。			
金		SUS316	850	950	モリブデンを含み、耐熱、耐酸、耐アルカリ性に優れる。			
T.	ステンレス鋼管	SUS316L	850	950	" "			
200		SUS310S	950	1050	Ni, Cr 成分を多く含み、耐熱性に優れるが硫黄を含む高温ガスに弱い。			
呆	高クローム鋼(サンドビック)	P4	1000	1200	27%クローム鋼で耐熱性にすぐれる。塩浴、溶融金属、高温下で耐酸性にすぐれ、酸化還元炎にも可。			
菱	インコネル	In	1100	1200	高温時機械的強度大、耐蝕性にすぐれる。硫化ガスに弱い。			
音	チタン	Ti	800	1000	耐熱性あり、中性、アルカリ、酸の多くに安定、高価。			
	テフロン被覆	PFA	200	250	低温での耐薬品性が大。SUS304または316の保護管に被覆。			
非	不透明石英管	QT	1000	1050	急熱, 急冷に強く, アルカリに弱く, 酸性に強い。			
金属	アルミナ磁器(第二種)	NC	1350	1400	耐熱・耐蝕性にすぐれる。衝撃にもろい。			
金属保護管	アルミナ磁器(第一種)	НВ	1400	1550	気密性大。溶融金属燃焼ガスに強い、アルカリに弱い。			
管	高純度アルミナ磁器	AL23	1800	1900	スラブ、溶鋼、溶解ガラスなどの測温用。気密性大。アルカリに弱い。			

■補償導線

組合せる熱	補償導	線の種類		構成	材 料	熱電対との	誤差の	色
電対の種類	新記号	旧記号		+ 脚	- 脚	接合点温度℃	許容差	-
В	BX-G		一般用普通級	銅	銅	0~100		灰
	SX-G		一般用普通級	銅		0~150		
S	SX-H		耐熱用普通級		銅及びニッケルを		+3	黒
	RX-G		一般用普通級	±19	主とした合金	0~150	-7	m
R	RX-H		耐熱用普通級					
	KX-G	WCA-G	一般用普通級	* ニッケル及びクロム を主とした合金		-20~150	±2.5	青
к	KX-GS	WCA-GS	一般用精密級		ニッケルを主		±1.5	
	КХ-Н	WCA-H	耐熱用普通級		とした合金		±2.5	
	KX-HS	WCA-HS	耐熱用精密級				±1.5	
	WX-G	WCA-G	一般用普通級	鉄	銅及びニッケルを		±3.0	
	WX-H	WCA-H	耐熱用普通級	鉄	主とした合金			
	VX-G	WCA-G	一般用普通級	銅	鋼及びニッケルを 主とした合金	-20-100		and and
	EX-G	WCRC-G	一般用普通級	※ ニッケル及びクロム	銅及びニッケルを			紫
E	EX-H	WCRC-H	耐熱用普通級	を主とした合金	主とした合金		±2.5	米
	JX-G	WIC-G	一般用普通級	*	銅及びニッケルを			黄
J	ЈХ-Н	WIC-H	耐熱用普通級	- 鉄	主とした合金	20 150		щ
	TX-G	WCC-G	一般用普通級	*		-20~150	±2.0	
	TX-GS		一般用精密級	261	鋼及びニッケルを		±1.0	茶
I	ТХ-Н	WCC-H	耐熱用普通級	銅	主とした合金	to all the	±2.0	ऋ
	TX-HS		耐熱用精密級			1 TO 1 TO 1	±1.0	

[※]印は構成材料が熱電対と同じもの



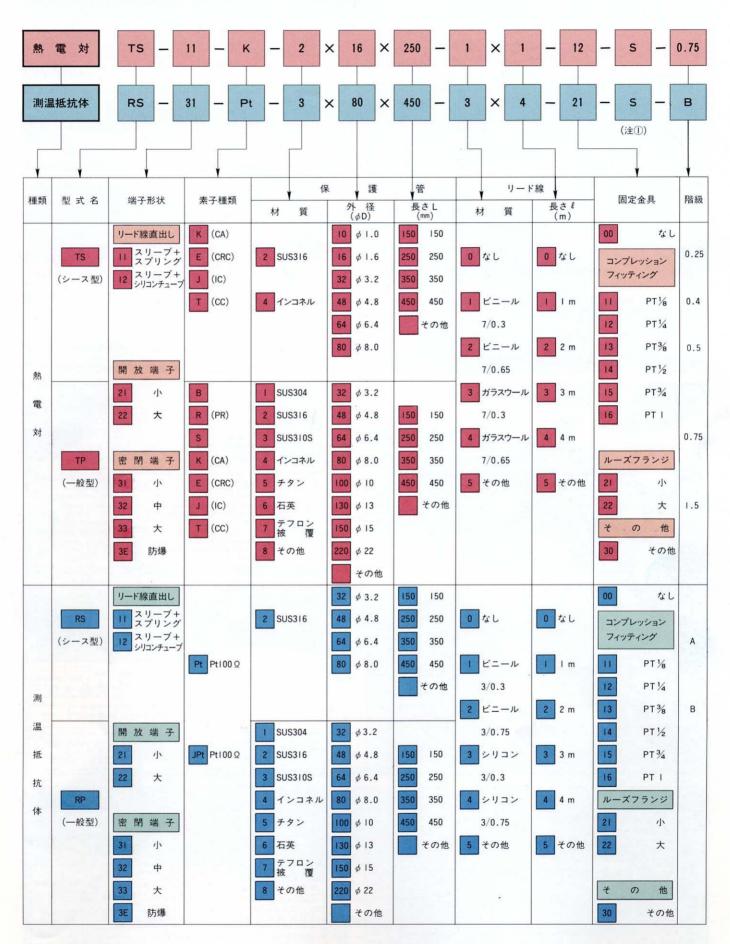
日本シーズ線株式会社

11	TOD	-
17	玾	占

製品改良の為ご連絡せずに記載内容を変更することがあります

温度センサ型式構成基準

T 熱 電 対 S シース型 R 測温抵抗体 P ー 般 型



[注] ①素子数が2素子、3素子の場合は特記してください。なお、⑤は1素子、⑥は2素子、⑥は2素子、⑥は3素子を表わします。 ②保護管の外径や長さが上記表の数値と異なる場合は、 (その他)の空欄中へ希望の数値を入れてください。

■特注品図(1例)

